

for your dream—

進路通信

平成29年度第6号

平成29年9月13日

都立武蔵野北高等学校
進路指導部

センター試験まであと122日！

文化祭が終わって、いきなりセンターまでの逆算をされてびっくりしたのではないだろうか。しかし、今(特に3年生において)大切なのは文化祭の余韻に浸っていることではなく、**行事モードから学習モードへと気持ちを切り替える**ことだ。この時期に3年生が文化祭をしている学校はそう多くないのだから、他校生や浪人生に後れをとっていることを自覚しなければならない。毎年見ていると、いつまでも文化祭の写真を見て盛り上がっているような人は、受験の結果は芳しくない。やはり「**切り替えが大事**」なのだ。



では、勉強するとしても、効果的に行うにはどうすればよいのか。今回は学習方法の基本について述べてみる。(再掲)

効果的な学習法とは？

『予備校に行っている人は読まないで下さい』(長林尚弘・武田塾塾長)という本によれば、学習の定着には「理解・再構築・記憶」の三段階が必要だという。以下、要約。

STEP1 「理解」＝「わかる」

授業を受けたり、参考書を読み、しっかりとわかること。

STEP2 「再構築」＝「記憶」

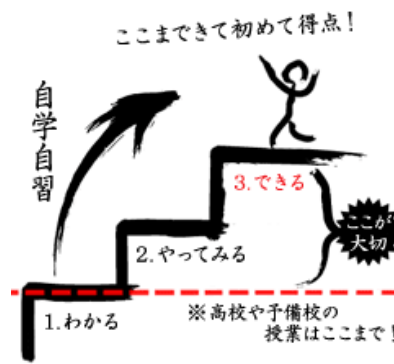
「理解」だけでは定着しない。一人でできるかどうか、わかった問題を解きなおしてみる。できなかったものには×をつけ、「理解」し直し、全問正解になるまで繰り返す。

STEP3 「記憶」＝「忘れないように復習する」

一度できるようになっても、絶対に忘れる。定期的に過去の問題を解きなおし、間違えたものには×をつけ、全問正解の状態にもっていく。この状況を毎回作り出して、一冊を完璧にする。

→これで成績がアップするのだ。

これまで進路通信で述べてきたことと、ほぼ同じだろう。つまり、「授業を聞いただけでわかったつもりになるな」



「忘れた頃に覚えなおせ」「自分で考える。自らつかみ取った知識こそ定着する」ということだ。学習法の基本は決まっているので、しっかりと押さえておこう。

今後の予定は……

長い2学期が始まったが、これから何をやるのかを意識しておかないと、流されるだけの生活になってしまう。高校生活全体を通じた目標を持ち、この1年になすべきことを考え、各学期や毎日の目的を立てておこう。

月	1年	2年	3年
9		OGOB懇談会 3年選択科目説明会 学部学科説明会	センター試験出願説明会 推薦入試校内選考開始 模擬面接開始 センター出願校内締切
10	進路講話	選択科目に関する個人面談	実力テスト
11	学習状況調査 実力テスト	実力テスト 学習状況調査 3学年選択科目決定	学習状況調査 実力テスト 進路カード提出 私大出願指導研究会
12	キャンパスツアー		国公立出願指導研究会 推薦合格者説明会
1	センター同日試験(希望者) 実力テスト	センター同日試験 3年0学期始業式	センターマラソン センター直前説明会 センター試験 自己採点 国公立2次出願指導検討会 センター後講習 一般入試開始
2	学習状況調査	実力テスト 学習状況調査	国公立前期試験
3	成蹊大学訪問	第一志望校届提出 合格者速報会 進路室ガイダンス	国公立後期試験 合格者速報会 3月入試

1年生⇒将来の目標を考え、大まかな文理選択を考えておこう。ゆっくりと将来について考えられるのは今しかない。

2年生⇒3年の選択科目を決めよう。そのためには、志望大学と受験科目を調べなければならぬ。受験の資料は読みこなせるだろうか。どんな学部、どんな大学へ進む

のか決められるだろうか。教科選択に失敗すれば後で後悔することになる。2学期中にしっかりと将来を考えて、第一志望校を絞っておこう。

3年⇒ 緑光祭は終わったが、「受験」という高校生活最後で最大の行事が残されている。受験は大変だなんて思わないで、みんなと一緒に「受験」という行事を楽しもう! 平日1日5時間の家庭学習は当たり前だ!

連絡

<3年生>

9/16(土)までにセンター試験志願表の下書き完成 9/22(金)志願表を提出
10/10(火)駿台ベネッセ記述模試 11/1(水)駿台ベネッセマーク模試
1/4(木)~1/7(日)センターマラソン 詳細については近日中に連絡する。

<2年生>

9/13(水)OBOG懇談会 30名の先輩たちが来校して、学習法や大学について語ってもらう。
9/27(水)学部学科説明会 11の大学の方が来校して、各学部や大学について語ってもらう。

<1年生>

10/11(水)進路講演会 嘉悦大学教授・生井先生のお話を伺う。病によって失明したにもかかわらず大学の先生になった方。生きること、働くこと等について考えさせられる。

さて、中間考査や2学期の模試でどのくらい取るかという目標を決めておくと、学習に身が入りやすい。平均点を超えるとか、8割以上取るとか、何でもいいから具体的な数値を設定しておこう。模試に関しては目標得点率を提示しておく。

3年生が11/1実施の駿台ベネッセ記述模試におけるB判定偏差値。B判定とは合格率60~80%を示す。受験者の多い大学について紹介するので参考にしてほしい。

<国公立大>

千葉大(57~71) 東京海洋大(51~60) お茶の水女子大(61~70)
電気通信大(57~58) 東京外国語大(63~74) 東京学芸大(52~63)
東京工業大(69~75) 東京農工大(56~71) 一橋大(72~80)
首都大学東京(54~64) 東京大(78~87) 埼玉大(51~61)



<私立大>

青山学院大(65~74) 学習院大(57~67) 慶応大(65~85) 駒沢大(44~64)
上智大(57~75) 専修大(53~63) 中央大(59~77) 東京理科大(58~72)

東洋大(46~62) 日本大(44~72) 法政大(55~70) 明治大(60~72)
立教大(61~74) 早稲田大(65~82)

閑話休題 かけがえのない今日

文化祭という「かけがえのない時」を過ごしたみんなに読んでほしい文章。幻冬舎(出版社)社長・見城徹氏が母校の記念誌に書いたメッセージより抜粋。(一部要約)

44年前、僕は高校を卒業した。
小学校・中学校と劣等生だった僕にとって、高校入学は大きな人生の転機になった。
青春ドラマの舞台となるような高校で、僕は全身全霊をぶつけて、恋愛や友情、勉強やスポーツに向き合った。あれほど懸命に生きた記憶は、後にも先にもあの3年間だけである。それほど僕にとって一心不乱の季節だった。
初めて異性を愛しいと思い、思いつめた日々を過ごしたことはなかったし、ロックンロールに夢中になったこともなかった。
嫌だ嫌だと逃げたい心を押さえつけて1日3時間睡眠で受験勉強したのも、本を片っ端から読んだのもその3年間に限られている。
一歩を踏み出すこと、目標に向かって努力すること、死ぬ気で何かに熱中すること、それらすべてを高校3年間は天の恵みのように教えてくれた。
自分の信じた道を真っ当に努力さえすれば、少しずつ報われる、そのことに僕は高校になって初めて気づいたのだ。
あの3年間でなかったら、今の僕はない。
そのさ中にある者には、その貴重さがわからない。
そのさ中をどう生きるのか。何とどう向き合うのか。
君たちは2度とも戻らない。その貴重な季節のさ中にある。
何でもいい、何かに熱中しろ、何かと格闘しろ。もがき、苦しみ、悩み抜け。それがどれだけ大切だったか、思い知る時がきっと来る。
光陰矢のごとし。今日と違う明日をつくれ。それには圧倒的な努力が必要だ。
人生の中で最も恵まれた時期を、なんとなく生きるな。
失恋しても、失敗してもいい。勇気を出して、自分が夢中になれる何かに一歩を踏み出していく。どんなにボロボロになっても、それがかけがえのない1日となる。

『たった一人の熱狂』(幻冬舎文庫より)